学校番号	327

令和８年度　地理歴史科（普通科）

教科	地理歴史	科目	地理演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新詳地理探究（帝国書院）・標準高等地図（帝国書院）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代世界を空間的な広がりに着目して捉え、地域の環境条件を踏まえた人間の営みと関連付けて考える。
・生活文化の多様性や地球的課題について追及し、解決に向けて効果的に説明できるように努める。
・地理的な事象について理解し、よりよい社会の実現を視野に課題を解決しようとする態度を養う。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・現代世界の地理的な諸課題について地域性を踏まえて、地図や地理情報システムなどを用いて、適切かつ効果的に調べることができる。
【思考力、判断力、表現力等】
・地理的な諸課題を多面的・多角的な観点から考察、構想したり、また、課題の解決に向けて構想したりする力を身に付け、考察、構想したことを効果的に説明することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
・地理的な事象について理解し、日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代世界の地理的な諸課題や地域の特色を位置や空間的な広がりに着目して捉えることができるとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べ、地域の環境条件を踏まえた人間の営みと関連付けて考察する力を身に付ける。	生活文化の多様性や地球的課題について、地理的な視点を持って多面的・多角的な観点から考察したり、課題の解決に向けて構想することができ、効果的に説明したりそれらを基に議論したりする力を養う。	地理的な事象について理解し、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養い、国家及び社会の形成者として、国際社会に主体的に生きる自覚と資質を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	現代世界の諸地域	・北アフリカとサハラ以南アフリカ ・EU 諸国 ・ロシア	a: 設定された各地域の言語・宗教・歴史・産業や人間生活との関わりについて関心を持ち、その知識を身に付けている。 b:それぞれの地域の特性を見いだし、各地域の主題について、多面的・多角的に考察するとともに、課題の解決に向けて構想し、効果的に説明することができる。 c:設定された各地域の言語・宗教・歴史・産業や人間生活との関わりについて主体的に追及する姿勢がある。	考査 小テスト 課題	考査 小テスト 課題	振り返りシート 課題発表
	現代世界の諸地域	・アメリカ合衆国 ・ラテンアメリカ ・オーストラリアとニュージーランド	a: 設定された各地域の言語・宗教・歴史・産業や人間生活との関わりについて関心を持ち、その知識を身に付けている。 b:それぞれの地域の特性を見いだし、各地域の主題について、多面的・多角的に考察するとともに、課題の解決に向けて構想し、効果的に説明することができる。 c:設定された各地域の言語・宗教・歴史・産業や人間生活との関わりについて主体的に追及する姿勢がある。	考査 小テスト 課題	考査 小テスト 課題	振り返りシート 課題発表

二学期	持続可能な国土像の探究	将来の国土の在り方	a:現代世界におけるこれからの日本の国土像の探究を基に，我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や，探究する手法などについての知識を身に付けている。 b: 現代世界におけるこれからの日本の国土像について，地域の結び付き，構造や変容，持続可能な社会づくりなどに着目して，主題を設定し，我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを多面的・多角的に探究し，説明することができる。 c:現代世界におけるこれからの日本の国土像について、主題を設定し，我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などについて主体的に追及する姿勢がある。	考査 小テスト 課題	考査 小テスト 課題	振り返りシート 課題発表
	持続可能な国土像の探究	持続可能な日本の国土像の探究	a:我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究の手法の知識を身に付けている。 b:これからの日本の国土像について、地域の結び付き、構造や変容、持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や国土の在り方などを多面的・多角的に探究し、説明することができる。 c: 我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究の手法について主体的に追及する姿勢がある。	調査計画書の作成	調査結果考察・提案書の作成	調査結果の発表

三学期	持続可能な国土像の探究	持続可能な日本の国土像の探究	a:我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究の手法の知識を身に付けている。 b:これからの日本の国土像について、地域の結び付き、構造や変容、持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や国土の在り方などを多面的・多角的に探究し、説明することができる。 c: 我が国が抱える地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方などを構想することの重要性や、探究の手法について主体的に追及する姿勢がある。	調査計画書の作成	調査結果考察・提案書の作成	調査結果の発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度